

福祉	令和3年度障がい者スポーツ活動 支援助成金
スポーツ活動を通じた障がい者の社会参加促進や障がい 理解を深めることを目的として、島根県内において障がい者 のスポーツ活動に取り組む団体が行うスポーツ活動に対し て助成します。 〔助成金額〕 1団体上限15万円 〔申込締切〕 3月8日	
〔発信元 (公財)島根県障害者スポーツ協会 〔U R L〕 http://spokyo.org/	
文化	ポーラ伝統文化振興財団 助成事業
日本の無形の伝統文化の保存・振興をはかるため、伝統工 芸技術、伝統芸能、民俗芸能・行事の各分野で保存・伝 承・振興活動および調査・研究活動において、有効な成果 が期待できる事業に対し助成します。 〔助成金額〕 30～200万円程度 〔申込締切〕 3月31日	
〔発信元 (公財)ポーラ伝統文化振興財団 〔U R L〕 http://www.polaculture.or.jp/promotion/jyoseiapply.html	

福祉	第33回「わかば基金」
地域に根ざした福祉活動を行っている団体を支援します。 ①支援金部門 国内のある一定の地域福祉活動の拠点を設け、この支援 金でより活動を上げたい。 〔助成金額〕 1グループ最高100万円 ②リサイクルパソコン部門 パソコンを利用して地域で活発な福祉活動に取り組んで おり、台数を増やすことでより高齢者や障がい者に役立ち、 活動の充実を図る。 〔助成金額〕 1グループ3台まで ③災害復興支援部門 東日本大震災以降に激甚災害指定を受けた災害の被災 地域に活動拠点があり、福祉活動を通して、その地域の 復旧・復興を進めている。 〔助成金額〕 1グループ最高100万円 〔申込締切〕 3月30日	
〔発信元 NHK 厚生文化事業財団 〔U R L〕 https://www.npwo.or.jp/info/18443	
※各種助成金の詳細については、 発信元のホームページをご覧ください。	

<市からお知らせ>

2021.3.6 sat

場所：益田市市民学習センター

内容：9：00-12：00 展示会

13：00-17：00 分科会

(事前予約制：定員 150 名)

〔注意事項〕

新型コロナウイルス感染拡大防止のため
現地参加人数の制限をいたします。 定員
(150 名) を超える申し込みがある場合に
ついてはオンラインでの参加となること
をご了承ください。

※詳しい内容については別紙 (チラシ)
をご覧ください。

発行元：益田市市民活動支援センター

益田市常盤町1番1号 益田市役所人口拡大課内

TEL:0856-31-0600 FAX:0856-23-7708

Eメール: npo@city.masuda.lg.jp



ますだすまいる 通信

新たに特定非営利活動法人が設立しました！

2021年1月、益田市で22法人目となる特定非営利活動法人(NPO法人)が設立しました。
今回新しく設立された「特定非営利活動法人 石西防災研究所」を紹介します！

特定非営利活動法人 石西防災研究所

代表者 伊藤 輝昭

所在地 益田市高津二丁目28番1号

問合せ先 Mail : info@sekisei-bousai.org

H P : <https://sekisei-bousai.org>



地域防災マップ作りの一コマ

【事業】

- (1) 防災意識啓発に関する講演会、講習会の開催
- (2) 防災・減災教育のための研修会の開催
- (3) 災害救援のためのボランティア研修、派遣及び支援
- (4) 防災・減災に必要な各種研修
- (5) 地域防災訓練の支援活動
- (6) 自然観察会、自然遊び体験会の開催
- (7) 有害生物対策
- (8) その他、法人の目的を達成するために必要な事業

【目的】

この法人は、住民や自治会などの地域コミュニティおよび保育所や学校、介護施設などに幅広く防災啓発活動を実施するとともに、地域防災力の向上、災害時における支援活動及びその目的に賛同する一般住民への支援等を通じて、安全で安心な地域の実現に寄与することを目的とする。

命を守り、命をつなぐ～災害で死なないために～

石西防災研究所は、災害から「命を守る、命を繋ぐ」ことを目的に設立しました。

災害で死なないためには、災害に備えた事前準備が大切です。

でも、具体的に何からすればいいのか、何をどのようにすればいいのかわからないことも多いのではないのでしょうか。
当研究所はそんな個人やご家庭、自治会や学校、施設などに対して、そこで必要とされる防災・減災対策と一緒に考え、それぞれにあったオーダーメイドの災害対策を提案したり、それに伴う小規模な講演会や研修会、施設改修支援や防災訓練支援などを行っています。

また、災害支援ボランティアの研修会や、実際の災害発生時には被災地域の受け入れが可能な状態になってから災害支援ボランティアの派遣、現地の復旧活動の支援などもやっています。

その他に、過去に地域に起きた災害やその遺構調査、地域の自然を知るための自然体験会、防災・減災活動に付随する有害生物対策など災害対策を基軸としたさまざまな活動をしています。

災害はいつ起きるかわかりません。

その時に全ての人が命を守り、復旧・復興後も命を繋ぐことができることを目指して、活動を行っています。

NPOヒント 会計・税務

～「平成26年度版 NPO虎の巻」より抜粋～

会費の未収金の取扱いはどうしたらいいのでしょうか？

発生主義の原則からすると、会費を未収計上する方が好ましいと考えます。ただし、実際にその会費を受取できるか否かが不明な場合には、未収計上することで却って財務書類の利用者が混乱することもあります。特に賛助会費等、実態が「寄付金」に近い性質のものについては、未収計上しない方が合理的との考え方もあります。

従って、その会費の性質や徴収可能性等を勘案し、①納入の確約ができていない会費、②決算作業中に現に納入された前年度会費については未収計上した方が合理的でしょう。

なお、未収計上しない場合には現金主義により収益計上することになりますので、前年分の会費であっても当年の収益として計上すれば足りると思えます。

登録団体紹介 NO.8～ 地域自治組織 二条里づくりの会 ～

里山をいかし、人と自然がつながる二条 ～みんなで つろうて ようしようやあ～

二条地区は、益田市の西端に位置する比較的標高差のない中山間地で、市指定文化財となっている「横山城址」、夏には地区人口の3倍もの来場者が訪れる「二条ホタル祭」、抜群に美味しい「二条米」、江戸から昭和にかけて5軒もの旅籠が軒を連ね、「市」が立つ街道筋の「宿場町」だった等々、歴史とロマンが漂うゲンジボタルの舞う里山です。

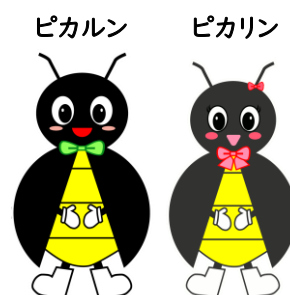
そんな魅力ある地区ですが、人口減少・少子高齢化による後継者不足、耕作放棄地・空き家の増加、有害鳥獣被害の増大など様々な課題を抱えています。これらを解決していくため、地域住民中心に新しい地域自治組織を、平成26年8月に立ち上げました。

【地域の魅力化に向けた取り組み】

二条里づくりの会では、「定住対策・次世代育成・里山保全・歴史や文化の継承・地域資源の掘り起こし・特産品のブランド化・情報発信・地区内外交流」をつなげる「元気な邑づくりサイクル」に地域全体で取り組んでいます。

また、「なりわい・ひと・くらし」の3つの部会で構成され、それぞれの部会が課題解決に向けて工夫を凝らした取り組みを展開しています。

〈二条のマスコットキャラクター〉



○定住対策

地区内の空き家調査・維持管理、空き家バンクへの登録や、「おたのしみ古民家住宅 つどい」を様々な研修や体験交流活動の場として、また、移住希望がある方への宿泊体験の場としても活用しています。

平成26年から令和2年の間に UI ターン者は、

U ターン者:27組43名

I ターン者:18組38名(内転出者:2組6名)

となっており、定着率の高さがうかがえます。



○次世代を育成する事業

「どんぐりの森づくり活動」や「INAKA ライド(エンドステーション)」の協力、また地区内外との「交流親子芋掘り体験会」、子ども社会教育事業として「つ〜キャン(親子キャンプ)」・「収穫祭」・「ミニ門松づくり」・「ボランティアハウス」などの活動を行い、子ども達も楽しみながら参加しています。



○ふるさと便事業

二条地区の産品をパッケージにした「ふるさと便」を平成26年から開始し、お中元、お歳暮として年2回発送しています。

地区内はもとより地区外からも注文をいただいております。二条のお米やおもち、えごま茶など「地元産」にこだわり事業を続けています。



二条里づくりの会 イチオシ事業！

～ 住民による鳥獣被害対策 ～

二条の里山の環境として、25年前に比べて減少の一途を辿る農耕地、増大し続ける竹藪、雑木林、耕作放棄地があり、『野生動物にとって最適環境』になっている現状があります。

近年、イノシシ・アライグマ・ヌートリア・ニホンザルなどの出没・被害が多発する中で、クマやシカを目撃も増加し、里山での生活が脅かされています。そこで、地域自治組織に鳥獣被害防除隊を結成し、今までの「捕獲」中心ではなく、「防除」を目的とした有害鳥獣対策活動を、住民一体で行っています。

【二条地区鳥獣マップを作成】

地区住民から寄せられた目撃情報などを基に、地理情報システム(GIS)を使い、パソコン上の地図に情報を可視化した「二条地区鳥獣マップ」を作成。

これによって、情報を的確に把握することができ、防護柵の設置や追い払い活動、被害対策に役立てています。



【竹チップ・パウダー生産事業】

地区内には、放置竹林が多数存在しています。里山の景観を損ね、有害鳥獣増加の温床となっている放置竹林を減少させる活動として、ただ伐採するだけでなく有効活用するために竹チップの生産、竹堆肥の実証実験に取り組んでいます。



【講習会・勉強会を開催】

毎年2～3回、イノシシやサル、アライグマなどそれぞれの活動が活発になる前に講習会や勉強会を開催しています。

毎回、地区内外からも参加があり、充実した講習会となっています。



二条里づくりの会の今後の目標！

法人化で基盤整備を！

できることから取り組んでいき、二条全体を盛り上げ、維持していくことによって、一人でも多くの方に「二条っていいな」と思ってもらえれば嬉しいです。

二条地区の活動を維持していくには、地区民はもちろん、益田市に住んでいる一人ひとりの方の協力が不可欠です。「地域づくり」という言葉を聞いて自分には難しいなと思う方も、一度地域のお祭りやイベントに参加してみて欲しいです。きっと何か発見があると思います。

取組み中の事業の継続を！

【問い合わせ先】

二条里づくりの会 事務局(二条公民館内)

〒698-2254

島根県益田市桂平町 76 番地 I

TEL/FAX:0856-29-0001

HP: <https://nijo2project.wixsite.com/website>

Facebook: <https://www.facebook.com/nijo2project>

記事を見てくれた方へ一言

少子・高齢化の進むこの地域では、住民自ら安心安全な生活ができるよう、日々努力しています。行ってみたい、住んでみたい、そんな日本一の里山「二条」を、これからも応援してください。お願いします。